

# 旭川荘 障害者と60年

岡山で記念式典

## 400人 福祉向上へ決意新た

黙とうした後、末光茂理事長が「多くの皆さまの支えで60周年を迎えられた。今後も医療と福祉の融合や地域密着のサービスに励み、先人の思いや行動を次世代に受け継ぎたい」とあいさつ。伊原木隆太岡山県知事らが祝辞を述べた。

中四国初の重症心身障害児施設・旭川児童院の開設（1967年）に尽力した黒住教の黒住宗晴教主、夏祭りの開催や芸術・文化活動などを支援する「旭川荘友の会」の延原正会長ら4人の特別貢献者のほか、運営を支えたボランティア52団体、21人に感謝状を贈呈。潮谷義子・日本社会事業大理事長の講演もあった。

立。初代理事長川崎祐宣さん、肢体不自由児施設・旭川療育園名誉園長の堀川龍一さん、江草安彦さんらが発展に功績を残した。現在、岡山、愛媛県と中国・上海の87カ所で施設運営や教育、研究事業に取り組んでいる。（平田桂三）

社会福祉法人・旭川荘（岡山市北区祇園）の創立60周年記念式典が10日、同市のホテルで開かれ、関係者約400人が地域福祉の向上に尽くしてきた歩みを振り返り、障害者と共に生きる社会づくりへ決意を新たにしました。

式典に先立ち、3月に88歳で亡くなった名誉理事長・江草安彦さんの名誉県民顕彰式があり、長男の江草明彦・テレビせとうち取締役報道制作局長らに顕彰状などが授与された。

利用者や職員ら物故者に

旭川荘は56年6月に設



旭川荘の創立60周年を祝った記念式典